

## 当社車両輪軸組み立て作業に関する点検結果について

横浜高速鉄道株式会社（以下、当社）が保有するみなとみらい線の車両について、輪軸組み立て作業の委託先となる東急電鉄株式会社（以下、東急電鉄）による点検を実施したところ、東急電鉄の再委託先による車輪交換時のデータの差し替えがあったことが判明いたしました。

これは、お客様からの安全に関する信頼を著しく損なうものであり、ご利用のお客様に深くお詫びするとともに、今後は再発防止の徹底を図ってまいります。

なお、該当車両については、緊急点検を実施し、現在は安全性を確認しております。

本件に関する詳細は以下のとおりです。

### 1 経緯

当社では、輪軸組立作業を東急電鉄に委託しておりますが、東急電鉄では当該作業を株式会社総合車両製作所（以下、J-TREC）に再委託しております。

このたび、国土交通省からの通達を受け、委託先の東急電鉄に当社が保有する車両6編成（48両）の輪軸組み立て作業について確認を依頼したところ、J-TRECが当該作業時の圧入力値を差し替えて提出していた旨報告を受けたため、当社から東急電鉄に対し、点検の実施を求めたものです。

### 2 点検結果

横浜高速Y500系車両192軸（48両）のうち、14軸（6両）について最大12.5%上限値を超過していました。

### 3 当面の対応

- （1） 圧入力値の上限値に対する超過が10%未満のもの（13軸）  
定期的な検査時における超音波探傷検査や車輪間隔（バックゲージ）等の測定により、安全上問題ないことを再確認しました。
- （2） 圧入力値の上限値に対する超過が10%以上のもの（1軸）  
定期的な検査時における安全確認の他、臨時で超音波探傷検査を実施し、安全上問題ないことを確認しました。

### 4 再発防止策

- （1） 委託先である東急電鉄に対し、原因究明と管理体制及び報告体制の見直しを求めます。
- （2） 東急電鉄にて見直した管理体制及び報告体制の有効性を当社にて確認します。
- （3） 当社社員へ本事案を周知するとともに、安全の重要性及びコンプライアンスの遵守について再徹底を行います。